

所管部長等名	農林水産部長 黒木 信夫
所管課・係名	農林水産政策課 坂本農林水産地域事務
課長名	小堀 千年

評価対象年度	平成27年度
--------	--------

1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	生活館、生活改善センター及び多目的集会施設管理運営事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	5	—	1	—	11
施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち	事業コード(大-中-小)	4	—	11	—	37
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり	総合戦略での位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興		施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	施設の貸出及び維持管理								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営 ● 一部委託 全部委託 補助金(補助先:) その他()								
根拠法令、要綱等	八代市生活館条例、八代市生活館条例施行規則、八代市生活改善センター及び多目的集会施設条例								
事業期間	開始年度			終了年度			法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない	
	合併前			未定					

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対象 (誰・何を)	八代市生活館、鶴喰生活改善センター、深水生活改善センター、久多良木多目的集会施設、西部多目的集会施設								
事業内容(手段、方法等)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)								
施設の貸出: 519件(293,340円) 電気使用量: 6千円(八代市消防団坂本方面隊第一分団) 消耗品: 36千円 光熱水費: 1,456千円 修繕費(空調コインタイマー他): 476千円 生活館管理委託: 636千円 機器等保守点検委託: 846千円 工事請負費: 1,359千円(久多良木多目的集会施設用地法面保護工事他) 備品購入費: 729千円(久多良木パッケージエアコン、生活館真空包装機)					・八代市生活館 農産加工品の製作や開発などの利用に不都合が生じないよう適切な維持管理の実施 ・生活改善センター及び多目的集会施設 小規模の会議やレクリエーションなどの交流の場として施設の安全確保や、利便性向上のための適切な維持管理の実施				

コスト推移		25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度予算	29年度見込	30年度見込	31年度見込
総事業費 (単位:千円)		-	3,952	5,556	7,099	3,526	3,423	3,376
事業費(直接経費) (単位:千円)		3,671	3,252	5,556	4,999	3,526	3,423	3,376
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源(特別会計→繰入金)	214	190	301	270	306	306	306
	一般財源(特別会計→事業収入)	3,457	3,062	5,255	4,729	3,220	3,117	3,070
人件費		25年度決算	26年度	27年度	28年度見込	29年度見込	30年度見込	31年度見込
概算人件費(正規職員) (単位:千円)		-	700	0	2,100	0	0	0
正規職員従事者数 (単位:人)		-	0.10	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00
臨時職員等従事者数 (単位:人)		-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
				①	八代市生活館	件	計画	-	200
			実績	197	177	131	153	-	-
②	生活改善センター及び多目的集会施設	件	計画	-	460	460	460	460	460
			実績	459	373	406	366	-	-
③			計画	-					
			実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
					①				計画	-
				実績					-	-
②				計画	-					
				実績					-	-
③				計画	-					
				実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合

3 (Check) 事務事業の自己評価

着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	八代市生活館は、地域特産品の開発など、特性を生かした利用ができており、利用回数も例年変化なく推移している。 また生活改善センター及び多目的集会施設は、地域住民の交流の場としての役割を果たしており、生活改善や住民福祉の向上に役立っている。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	施設の利用状況も例年変化なく推移しており、順調であるといえる。 事業は、施設を安全に利用するための維持管理費であり見直しの余地はない。
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	現行どおりでよい ● 見直しが必要	施設の設置目的からして、指定管理者制度の導入には適さないと思われるが、設置地域を相手方としての民間委託は検討の余地がある。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止) ● 4 市による実施(要改善)	2 民間実施 5 市による実施(現行どおり)	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 6 市による実施(規模拡充)
今後の方向性の理由、改革改善の取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取組をもたらそうとする効果など) 生活改善センター及び多目的集会施設は設置地区を相手方とした委託業務を検討する必要がある。委託することにより正規職員の業務が減少し、人件費の経費削減が期待できる。		
外部評価の実施	有：外部評価	実施年度	平成25年度
改善進捗状況等	H27進捗状況	1. 対応済（廃止含む）	
	H27取組内容		
決算審査特別委員会における意見等	「特になし」 (委員からの意見等)		